

科 目 名	更生保護制度					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	江 口 賀 子						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	犯罪や非行を犯した者に対して、その再犯を防ぎ、更生させるための施設内教育から社会内教育への移行や実施の手だてや仕組み、支援のあり方等を社会福祉と関連させながら概説する。また、地域生活定着支援センターや刑務所内での社会福祉士の役割・実践について概説する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 更生保護制度の概要を理解する 2) 更生保護制度の担い手を理解する 3) 更生保護制度における関係機関、団体との連携について理解する 4) 医療観察制度の概要について理解する 5) 更生保護の実際と今後の展望について理解する						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	更生保護制度（中央法規）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	○					60
宿題・授業外レポート							
授業態度	○		◎				20
受講者の発表							
授業への参加度	○		◎				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	更生保護制度の概要その1 刑事・保護手続、仮釈放、仮退院制度、保護観察						
第 2 週	更生保護制度の概要その2 生活環境調整、更生緊急保護、犯罪被害者施策、予防活動等						
第 3 週	更生保護の担い手について 観察官、保護司、更生保護施設、民間協力者						
第 4 週	関係機関・団体との連携 裁判所、検察庁						
第 5 週	関係機関・団体との連携 矯正施設、その他機関とのかわり						
第 6 週	医療観察制度の概要 対象者、担い手、手続、環境調整等						
第 7 週	更生保護の実際と今後の展望その1 事例に学ぶ、福祉との連携						
第 8 週	更生保護の実際と今後の展望その2 今後の展望と課題						
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						